



トラックシーズン

トラックシーズンは、熊本県開催の金栗記念選抜陸上・中長距離熊本大会の5000mから始まりました。5組に分けて行われる一般男子5000mの1組で、高橋尚弥選手が終始先頭付近でレースを進め、3位でフィニッシュするというチームとして幸先の良いスタートを切りました。4組を走ったアツバイナ デグ選手も終始先頭付近でレースを進め、ラストスパートで後続選手を振り切りトップでフィニッシュしました。自己記録を20秒近く更新する好走でした。

福岡県選手権で1500mに出場した高橋尚弥選手は序盤から積極的なレースを行い、安川電機の記録を更新する2位でフィニッシュしました。

ゴールデンウィーク期間中に開催された「ゴールデンゲームズinのべおか」には4名の選手が出場。中でも、今期好調の高橋尚弥選手が男子5000mD組で序盤から集団前方でレースを進め、自己新記録で1位となりました。

当社の地元で開催された九州実業団陸上競技選手権大会には11名の選手が出場。ここでは新人の吉武佑真、高橋達也選手がジュニア1500m、5000mに出場。男子10000m2組では佐護啓輔選手と古賀淳紫選手が激しい先頭争いを見せ、1、2位でフィニッシュしました。古賀淳紫選手は自己新記録の走りでした。男子10000m3組では、アツバイナ デグ選手、高橋尚弥選手が自己新記録と、今期の好調さを見せる走りでした。

更には、日本陸上競技選手権大会の男子1500mに高橋尚弥選手が出場。専門外の高橋選手はひたすら我慢を強いられるレースとなりました。結果的には9位で予選敗退となりましたが、このようなスピード種目への挑戦は将来生かされると思います。

このトラックシーズンを総括すると1500m、5000m、10000mで自己記録を更新した高橋尚弥選手や、アツバイナ デグ選手の活躍が際立ちました。

また、今期当社陸上部初の短距離選手・大瀬戸一馬選手(新人)が、SEIKOゴールデングランプリと日本選手権の男子100mに出場しました。昨シーズン痛めた右脚の影響で両レースとも満足な結果を得ることは出来ませんでした。この後、福岡県陸上競技国体最終選考会の成年男子100mに出場し1位となりました。

世界陸上競技選手権 ロンドン大会 中本健太郎選手出場



2017年8月6日10:55、タワーブリッジ前を発着点として、100名の選手による男子マラソンがスタートしました。この時期としては非常に涼しく、暑さに定評のある中本選手には若干不利な気象条件です。

中盤まではスローペースの展開のレースで、中本選手を含む日本勢3選手は、25位付近に位置しました。中間点を16位で通過した中本選手でしたが、先頭のペースが20~25kmにかけて14分28秒までアップすると、ここで遅れを取りました。25km地点では先頭から40秒差の12位。31.2km地点で10位へと順位を上げ、39kmで9位へと浮上しました。8位入賞を目指して走っていましたが、41km地点で後方から猛烈に追いつけてきた川内優輝選手(埼玉県庁)に抜かれ、2時間12分41秒の10位でのフィニッシュとなりました。

フィニッシュ後のインタビューで「3周目の勝負どころで体が動かずに離されてしまった」「最後に川内君が来て負けたくなかったが、体が止まって負けたのは悔しい」と答えました。

一方、9位となった川内選手は取材に対して「今回中本さんをマークして、改めてレース運びがうまいと感じた」「今回9位になれたのも、中本さんのおかげ」とコメントしています。

韓国大邱(テグ)大会10位、ロンドンオリンピック6位、モスクワ大会5位、ロンドン大会10位と世界の大舞台で結果を残してきた中本選手の走りは、高速化した世界のマラソン界で日本人選手が戦っていくための財産となりました。

◆ 2017年4月~8月の主な戦績

日程	大会名	成績
4月 1日	選抜陸上・中長距離熊本大会	5000mタイムレース:アツバイナ デグ選手2位(自己新記録)
4月 29日	福岡県選手権	男子1500m:高橋尚弥選手2位(自己新記録/安川新記録)
5月 6日	ゴールデンゲームズinのべおか	男子5000mG組:古賀淳紫選手12位、F組:佐護啓輔4位、D組:高橋尚弥選手1位(自己新記録)、C組:アツバイナ デグ選手13位
5月 20日、21日	九州実業団陸上競技選手権大会	男子10000m2組:佐護啓輔選手1位、古賀淳紫2位(自己新記録)、3組:アツバイナ デグ選手6位(自己新記録)、高橋尚弥選手7位(自己新記録)
5月 21日	セイコーゴールデングランプリ陸上2017川崎	男子100m:大瀬戸一馬選手8位(新人)
6月 3日	鞘ヶ谷記録会	一般高校男子5000m11組:林慎吾選手4位(自己新記録)、12組:古賀淳紫選手9位(自己新記録)、13組:高橋尚弥選手11位(自己新記録)
6月 23日	日本陸上競技選手権大会	男子100m予選1組:大瀬戸一馬選手3位(予選敗退) 男子1500m予選3組:高橋尚弥選手9位(予選敗退)
7月 5日~13日	ホクレンディスタンスチャレンジ	深川大会男子10000mB組:古賀淳紫選手2位(自己新記録) 網走大会男子10000mA組:高橋尚弥選手19位
8月 6日	世界陸上競技選手権ロンドン大会	男子マラソン:中本健太郎選手10位